

# マップ片手にフリーハイキング 森林学びハイキング「里山林の整備と地域の森づくりを知る」 下唐櫃・伊勢講山散策コース (神戸市建設局共催)

約 7 km  
一般向

8月27日(土) 有馬口駅 9:00~10:00 集合スタート

コース：有馬口駅～山王神社～専念寺～風呂ヶ谷～有馬口市民公園～伊勢講山～有馬口駅



所要時間の目安  
約 1 時間 25 分  
(休憩時間を除く)

## 〈新型コロナウイルス感染症対策について〉

神鉄ハイキングでは、新型コロナウイルス感染症対策を以下のとおり取り組んでおります。

ご参加のお客様には、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

## 【感染防止対策】

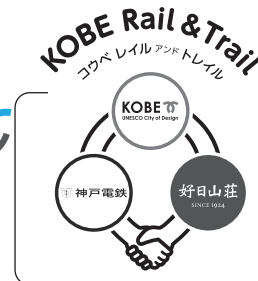
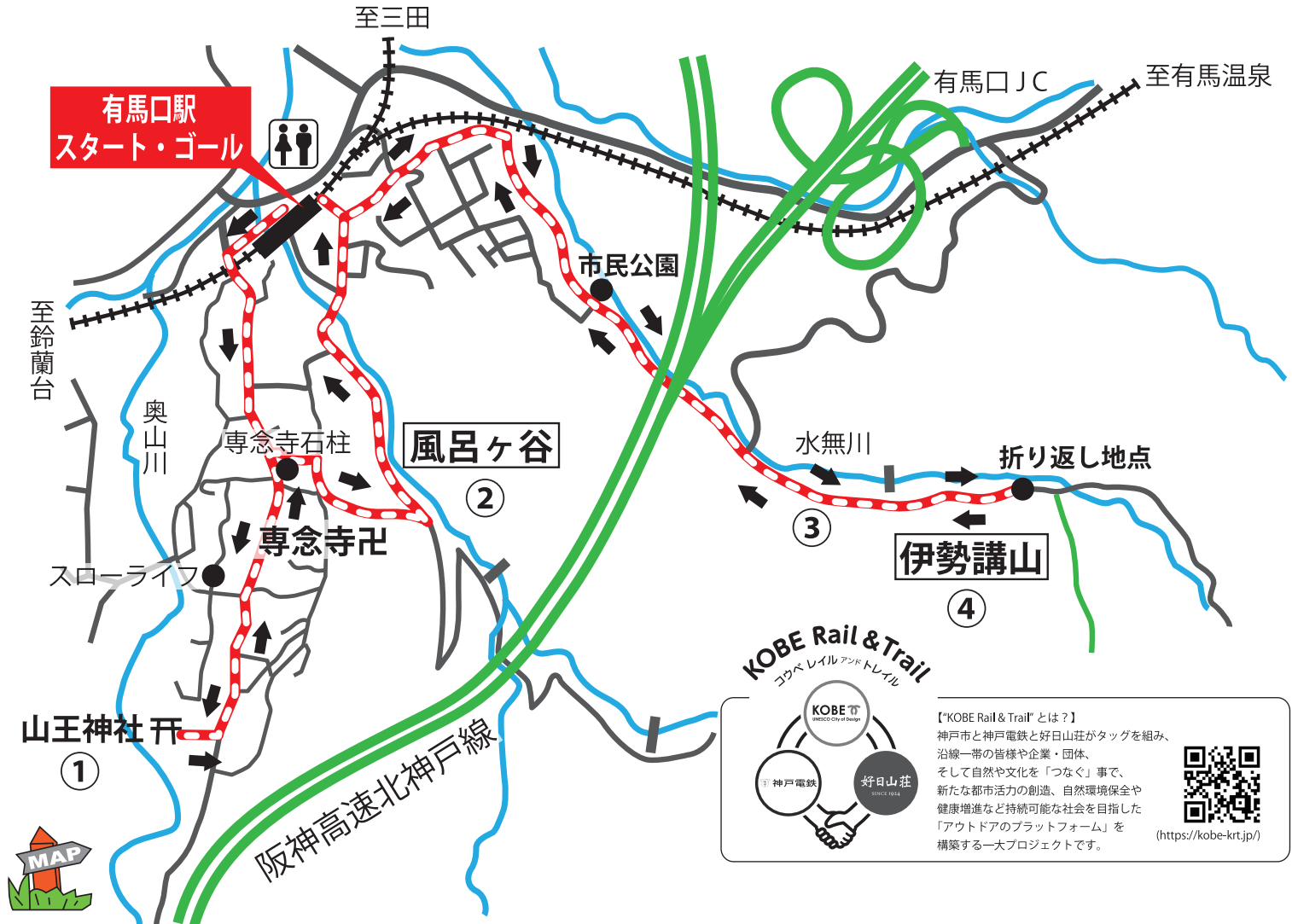
- ・受付に消毒液を設置いたします。
- ・係員のマスク着用、定期的にアルコール消毒を実施いたします。

## 【お客様へのお願い】

- ・発熱、咳など体調不良の症状がある方はご参加をお控えください。
- ・受付時、検温を実施いたします。
- ・受付、札所および施設等の立ち入り箇所ではマスクの着用をお願いいたします。
- ・受付、歩行の際はお客様同士の間隔をあけていただきますようお願いいたします。
- ・咳・くしゃみをする際に咳エチケットのご協力をお願いいたします。
- ・アルコールまたは除菌液等で手指の消毒にご協力をお願いいたします。
- ・熱中症にならないように、こまめな水分補給を心がけましょう。

## (ご注意)

- ◎ハイキング参加中に生じた参加者の事故やケガ、または参加者が他に与えた損害については主催者は、一切その責任を負いません。万一、事故等が生じた場合の費用については、参加者の負担となります。
- ◎タバコの火の後始末は確実に！ ゴミ・空き缶は必ず持って帰りましょう。
- ◎交通ルールを守り、道路横断時等は車に十分注意してください。
- ◎係員の指示、注意事項は必ず守ってください。
- ◎当日、体調がすぐれない方は、参加をご遠慮ください。



## 【"KOBE Rail & Trail"とは?】

神戸市と神戸電鉄と好日山荘がタッグを組み、沿線一帯の皆様や企業・団体、そして自然や文化を「つなぐ」事で、新たな都市活力の創造、自然環境保全や健康増進など持続可能な社会を目指した「アウトドアのプラットフォーム」を構築する一大プロジェクトです。



(<https://kobe-krt.jp/>)

YouTube 神鉄ハイキングのコースをご紹介します動画等配信中!  
神戸電鉄公認チャンネル **しんてつ+わんチャンネル**

チャンネルはこちら!

もしくは、YouTube で検索!  
しんてつ+わんチャンネル



# 里山林の整備と地域の森づくりを知ろう

## ○下唐櫃地区について

神戸電鉄有馬口駅南側の「下唐櫃地区」には、昔ながらの集落や石垣の棚田が残る田園の風景が残されています。そしてこの背後には、古くから薪炭の採取のため利用されてきた里山林や、明治～昭和にかけて植林された人工林が広がっています。このような自分たちの先祖から受け継いだ森林を含む自然環境を、次の世代にも引き継ぎたいという想いから、林業の衰退や高齢化による担い手の不足といった課題を抱えながらも、地域としてこのような森林の維持・管理に取り組まれています。また、神戸市としても、災害防止などの観点から、さまざまな財源を用いながら、森林整備などの事業に取り組んでいます。今回はこの下唐櫃地区で行われた森林の整備を、ハイキングルートに添ってご紹介します。（下記①～④の場所は表面地図を参照）



唐櫃地区の遠景

### ①山王神社境内



1333年に創建された下唐櫃の山王神社。境内にはウラジロガシなどの立派な大木が生育しています。同時にこのような大木は、カシノナガキクイムシという害虫の被害を受けやすい木でもあります。境内でも「ナラ枯れ」と呼ばれる病害が発生しており、台風などで倒れる危険性があったため、伐採・駆除を行いました。

カシノナガキクイムシはその名のとおり、ナラ類、シイ・カシ類などに入り込み、産卵します。その際に媒介するナラ菌により、通水障害が引き起こされ、場合によっては枯死に至ります。

(右)ほぼ原寸大のカシノナガキクイムシ



5mm

### ②風呂が谷



集落に近い森林は、昔は薪を採るなどして使われてきましたが、手入れが行き届かなくなると、災害に弱い森になってしまいます。

この風呂が谷地区では、県民緑税事業「里山防災林整備」や森林環境譲与税事業を活用して、人家裏の危険木の伐採や、過密になった広葉樹林や竹林、スギ林の間伐を行い、災害に強い森をつくるための整備を行いました。

整備により森の中に光が入るようになっていきます。川を挟んだ向かいの森はこれから整備をする予定です。森の中の明るさの違いがわかるでしょうか。

### ③水無川



集落から少し入ったこの水無川周辺からは急な斜面地に広葉樹林広がっており、このような森林の崩壊防止機能を強化するため、県民緑税事業「都市山防災林整備」という事業を活用して、危険木の伐採や、天然更新を目的とした広葉樹林の伐採、簡易な防災施設の設置などを行いました。なお、ここで伐採したコナラの一部は、六甲山にある兵庫県立六甲山ビジターセンターの建替えの際に、床材に使用されています。このように、伐った木を活用することも適切な森林の維持・管理のためには重要です。

### ④伊勢講山



ここでは地域住民が主体となって県民緑税事業「住民参加型森林整備」を活用し森林整備を実施しました。また、大学のフィールドワークや森林整備体験など地域内外の方々と協働で、昔から守り育ててきた森林を引き続き守っていくための取組みを実施されています。

江戸時代頃の日本の村落には、伊勢講と呼ばれる伊勢信仰の共同体があり、参宮の長旅にかかる費用などを「伊勢講田」「伊勢講畑」などと呼ばれる田畑からの収入で賄う場合があったそうです。下唐櫃地区に伊勢講があったかは定かではないようですが、「伊勢講山」の名からは、ここが昔から山の恵み豊かな場所であったことが伺えます。